

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【公開番号】特開2010-235546(P2010-235546A)

【公開日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-042

【出願番号】特願2009-87220(P2009-87220)

【国際特許分類】

C 07 C 67/60 (2006.01)

C 07 C 67/30 (2006.01)

C 07 C 69/734 (2006.01)

【F I】

C 07 C 67/60

C 07 C 67/30

C 07 C 69/734 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月28日(2012.3.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

位にヒドロキシアルキル基を有するアクリレートを反応に使用して、 - (不飽和アルコキシアルキル)アクリレートを製造する方法であって、

該製造方法は、反応により得られた反応溶液中の、 位にヒドロキシアルキル基を有するアクリレートを誘導体化して蒸留する工程を含むことを特徴とする - (不飽和アルコキシアルキル)アクリレートの製造方法。

【請求項2】

前記製造方法は、 位にヒドロキシアルキル基を有するアクリレートと不飽和基含有アルコールとを反応させて得た反応溶液中の 位にヒドロキシアルキル基を有するアクリレートを誘導体化し、蒸留する工程を含むことを特徴とする請求項1に記載の - (不飽和アルコキシアルキル)アクリレートの製造方法。

【請求項3】

前記製造方法は、 位にヒドロキシアルキル基を有するアクリレートとして - (ヒドロキシメチル)アクリレートを反応させ、不飽和基含有アルコールがアリルアルコールを必須とすることを特徴とする請求項2に記載の - (不飽和アルコキシアルキル)アクリレートの製造方法。

【請求項4】

前記製造方法は、酸無水物類、イソシアネート類、無水リン酸類及びエポキシド類からなる群より選択される少なくとも1種の誘導体化剤を用いて誘導体化することを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の - (不飽和アルコキシアルキル)アクリレートの製造方法。

【請求項5】

- (不飽和アルコキシアルキル)アクリレートと 位にヒドロキシアルキル基を有するアクリレートとを含む - (不飽和アルコキシアルキル)アクリレート含有組成物であって、

該組成物全体に対する 位にヒドロキシアルキル基を有するアクリレートの含有割合が 0 . 1 ~ 2 . 7 質量 % であることを特徴とする - (不飽和アルコキシアルキル) アクリレート含有組成物。